

氏名	
----	--

点数	
----	--

点/100点

各論演習 8-1

問1)

当社の以下の取引について、仕訳を示しなさい。

- ① 短期にキャピタルゲインを得る目的で株式会社スモールの社債（額面1,000,000円）を額面@100円につき@98円で発行と同時に購入し、購入手数料3,000円とともに小切手を振り出して支払った。
- ② 満期まで保有する目的でカーン株式会社の社債（額面100,000円）を額面@100円につき@97円で発行と同時に取得し、現金で支払った。
- ③ 得意先であるアクバル株式会社との関係強化のために、株式2,000株を1株につき2,000円で取得した。代金は3日営業日後に当座預金で決済する予定である。
- ④ シング株式会社の株式15,000株を1株につき1,000円で取得し、小切手を振出し支払った。なお、シング株式会社はこれまでに10,000株を発行している。

解1)

	借方	貸方
①		
②		
③		
④		

氏名	
----	--

点数		点/100点
----	--	--------

各論演習 8-2

問1)

次の取引について、モースタン株式会社（以下、M社という。）の売却時の仕訳及びショルト株式会社（以下、S社という。）の購入時の仕訳を示しなさい。

2022年9月11日に、M社がかねて売買目的により額面100円につき97円で購入していた額面1,000,000円の社債を額面100円につき98.2円でS社に売却し、代金は前利払日の翌日から売買日当日までの端数利息とともに小切手で受け取った。なお、この社債は年利率0.8%、利払日は6月末、12月末の年2回で、端数利息は1年を365日として日割り計算する。

解1)

	借方	貸方
M社		
S社		

氏名

点数 点/100点

各論演習 8-3

問1)

東京証券取引所で売買されている（資料）の有価証券について、当社の（1）切放法による場合と（2）洗替法による場合のそれぞれを検討しなさい。

（取引等）

前期（2022年4月1日～2023年3月31日）に小切手を振り出して取得した有価証券を、当期にすべて売却し代金は当座預金に振り込まれた。

①購入時、②前期末決算時、③当期首、④売却時の仕訳を示しなさい。なお、仕訳が不要な場合は「仕訳なし」と記入すること。

（資料）

銘柄と証券コード：	味の素株式会社 2802
取得の目的：	売買目的
取得日：	2022年5月10日
取得・売却株式数：	1,000株
取得原価：	1株当たり2,997円
前期末時価：	1株当たり？円（ヤフーファイナンスで当日の終値を検索すること (https://finance.yahoo.co.jp/quote/2802.T)
売却日：	2023年4月3日
売却時時価：	1株当たり？円（当日の高値で売却したとしてヤフーファイナンスで検索すること (https://finance.yahoo.co.jp/quote/2802.T)

解1)

(1) 切放法

	借方	貸方
①		
②		
③		
④		

(2) 洗替法

	借方	貸方
①		
②		
③		
④		

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 8-4

問1)

当社は、当期（2023年4月1日～2024年3月31日）に満期保有の目的でマクマード社の社債を現金で取得した。よって、次の資料により、当期における①取得日、②決算日の仕訳を示しなさい。

（資料）

取得日：	2023年11月1日
取得価額：	4,887,500円
額面金額：	5,000,000円
満期日：	2026年10月31日
クーポン利率（券面利率）：	年0.9%
利払日：	毎年4月末日と10月末日の年2回

取得価額と額面金額の差額は、すべて金利調整差額と認められるため、償却原価法（定額法）を適用する。

解1)

	借方	貸方
①		
②		

氏名	
----	--

点数		点/100点
----	--	--------

各論演習 8-5

問1)

次の資料により、当社（バーンストーン株式会社）の当期（2022年4月1日～2023年3月31日）における決算整理仕訳を示しなさい。なお、仕訳が不要な場合は「仕訳なし」と記入すること。

（資料1）決算整理前残高試算表（一部）

決算整理前残高試算表	
2023年3月31日	
（単位：円）	
子会社株式	7,700,000
関連会社株式	4,500,000

（資料2）決算整理事項

×2年3月31日現在における子会社株式の時価は8,000,000円、関連会社株式の時価は4,300,000円である。

解1)

子会社株式

借方	貸方

関連会社株式

借方	貸方



氏名

点数 点/100点

各論演習 8-6

問1)

次の資料により、その他有価証券の会計処理について、全部純資産直入法を適用した場合の、①×1年度の決算整理仕訳、②×2年度の再振替仕訳を示しなさい。なお、会計期間は1年、決算日は3月31日であり、税効果会計は考慮しない。

(資料) 決算整理前残高試算表 (一部)

決算整理前残高試算表	
×2年3月31日	
(単位: 円)	
その他有価証券	567,000

(資料2) 決算整理事項

その他有価証券の内訳は次のとおりである。

銘柄	取得原価	期末時価
パーソロミュ-社株式	357,000円	379,000円
サディアス社株式	210,000円	202,000円

解1)

①×1年度の決算正仕訳

パーソロミュ-社株式

借方	貸方

サディアス社株式

借方	貸方

②×2年度の再振替仕訳

パーソロミュ-社株式

借方	貸方

サディアス社株式

借方	貸方

